

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公表番号】特表2004-510772(P2004-510772A)

【公表日】平成16年4月8日 (2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2002-532439(P2002-532439)

【国際特許分類】

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 409/12

A 6 1 K 31/4535

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 M 7:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月25日 (2011.11.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 5 】

最も好ましい Ar^2 は、少なくとも1つの、好ましくは1つの親水性置換基を有するチエニル、ピロロ又はフェニル基である。前記チエニル、ピロロ又はフェニル基に結合されるそのような親水性置換基は、式Iの分子に良好な溶解性を付与する残基である。それらは、特にカルボキシル基、カルボキシレート、カルボキサミド、OH又はOH担持のアルキル基、又はヒドラジドカルボニル基を包含する。 Ar^2 上の親水性置換基を通しての式Iの化合物の溶解性の改良は、溶液にされる医薬化合物のために特に興味あるものである。